

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	平成18年度		
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	02 林業
事務事業名	01	治山林道整備事業	
根拠法令・例規等	森林法		
担当課(室)	農林水産課		
職・氏名	係長 藤森 亨		
電話	0869-66-1830		
このシート作成に要した時間	5.0 時間		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	林道事業者、森林所有者
目的(何のために)	林道を整備することにより森林の防火を図り、地域住民の生活道として利便性及び安全性を高め、また維持管理を行い林道の保全及び災害の防止に努めることを目的とする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	林道利用者及び地域住民が安全に通行できるように、林道の保全及び災害の防止に努めることを成果とする。

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
小規模林道整備事業	県単独事業に対し国庫補助対象とならない小規模な林道整備工事に要する経費の一部事業(補助率その他 開設4.5%、改良30%、舗装1/3、補修100%)を行う。		
安全・安心おやかや農山漁村基盤臨時整備事業	市町村等が災害に強い農林水産業、農山漁村の構築と活性化のために行う事業(補助率3分の1以内)を行う。		
閑谷の森管理運営事業	森林公園の維持・補修を行う。		
単独事業	県・国庫補助対象とならない小規模な林道工事に要する時間を行う。また、山地を対象とし、森林の維持及び災害の未然防止を目的として施設の整備、修繕を行う		
林道維持管理事業	林道の維持管理や交通安全施設の整備拡充など林道交通安全の確保に関する事業を行う。		
県治山林道協会負担金	各種団体への負担金		
備前地区治山林道協会負担金	各種団体への負担金		
治山施設維持管理事業	治山施設の維持管理		

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費	千円	15,826	23,018	11,466
	必要人員(人件費)	千円	0.77人	5,470	0.61人
	事業費計		21,296	27,765	17,607
	国県支出金	千円	3,016	15,355	1,080
	受益者負担				
財源	千円				
繰入金		6,300			
その他()					
一般財源			11,980	12,410	16,527
受益者負担比率	%		-	-	-
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	結果指標量	事業	2	1	2
	対前年比	%	-	50.0%	200.0%
	活動コスト	円	12,175,580	17,466,200	3,679,200
	単位当たりコスト	円	6,087,790	17,466,200	1,839,600

(平成22年度事業)

事業の成果							
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値		
		目標値(A)	134	529	128	90	
		実績値(B)	134	529	136	到達目標値	
林道(開設・改良)整備率	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	106.25%	100		
成果指標設定の考え方・式や説明							
整備済延長÷年度計画整備延長(m)							

Check

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託会)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C

事業の目的やその数値目標がある成果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	林業維持管理事業については現状を維持する。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
台帳整理及び林道利用者の調査を行い、現状をきちんと把握した上で優先順位を付けていき、維持管理していく中で林道利用者・地域住民等の協力も得ながら、林道の保全及び災害の防止に努めて行きたい。	評価区分 <A~E>	C	

Action

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	林業維持管理事業については現状を維持する。 小規模林道整備工事については、新田線の今後の方向性を地元関係者と協議し決定する。					